

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	4019	(H.22)No.	4019
-----------	------	-----------	------

事務事業名		交通安全施設整備事業			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
都市整備部		維持管理室		稲住和久	63-7681
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度	~	平成	年度

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	4	総合的な交通対策の推進
	施策	2	道路整備
	小施策	3	快適な道路環境の形成
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分		事業コード	391001
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	土木費	交通安全施設整備事業	
項	道路橋梁費	(小事業名)	
目	交通安全施設費	交通安全施設整備事業	

3. 事務事業の概要

<p style="text-align: center;">事業概要</p> <p>・安全で快適な通行を確保するために、道路反射鏡・防護柵・区画線等の交通安全施設を整備します。</p>	<p style="text-align: center;">めざす効果(事業目的)</p> <p>交通安全施設の整備により、安全な道路環境の形成に努めます。</p>
---	---

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)		平成23年度 (計画・作成時予算額)		現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]		[事業内容(事業量)・事業費]		市が直接実施 業務委託(全部・一部)により実施 指定管理 補助金・交付金 その他 ()		
主な事業の実績・計画	・道路反射鏡 設置3基 補修16基 ・防護柵 設置145m 補修21m ・区画線 設置 補修2,968m ・街路灯 設置14基 補修2基	・道路反射鏡 設置20基 ・区画線 補修5,000m ・街路灯 設置3基 ・その他補修は随時	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	・道路反射鏡、防護柵、区画線、街路灯の設置及び補修 ・道路反射鏡、防護柵、区画線、街路灯の設置及び補修 ・道路反射鏡、防護柵、区画線、街路灯の設置及び補修	
直接事業費	7,994千円		10,000千円		10,000千円	10,000千円	10,000千円
財源内訳 (千円)	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他(繰入金)	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
一般財源	(0) 3,994	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	
人工数		0.14人	0.18人	0.18人	0.18人	0.18人	0.18人
	職員						
	臨時職員等						
概算人件費	(0千円) 1,022千円		1,314千円		1,314千円	1,314千円	1,314千円
+ 総事業費	(0千円) 9,016千円		11,314千円		11,314千円	11,314千円	11,314千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。
 平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
 企業会計の財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金を記載しています。
 平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	件	-	-	-	-	410
	実績		432	429	417		
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針	引き続き、安全な交通環境を確保するため交通安全施設の整備を進めます。						

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
厳しい財源状況の中で、緊急性や地域性を総合的に考慮し整備を進めていく。	高齢化が進み交通事故件数も減らない現状の中で、交通安全施設整備の要望は多い。

7. 担当室による点検【事務事業をより良く(最適化)するために】

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)		備考欄(工夫・改善等を記載)
協働等は実践していますか <input type="text" value="実践していない(適当ではない)(へ)"/>	協働等の主な相手先について <input type="text"/>	
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) <input type="text"/>	協働等の今後の取組について <input type="text" value="市が直接実施"/>	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか <input type="text" value="現在の手法が妥当である"/>		
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか <input type="text" value="現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である"/>		
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか <input type="text" value="新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である"/>		
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか <input type="text" value="困難である"/>		

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) <input type="text" value="継続(現行)"/>	特記事項 (ここに特記事項を記載する)
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など <input type="text"/>	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 地元要望やパトロールによる緊急工事が随時発生するため、財源は少ないが効率的かつ計画的に進めていく。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	4025	(H.22)No.	4025
-----------	------	-----------	------

事務事業名 一般市道舗装事業			
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
都市整備部	維持管理室	稲住和久	63-7681
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	4	総合的な交通対策の推進
	施策	2	道路整備
	小施策	3	快適な道路環境の形成
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	395001
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款 土木費	一般市道舗装事業	
項 道路橋梁費	(小事業名)	
目 道路舗装費	一般市道舗装事業	

3. 事務事業の概要

事業概要	
生活道路の安全性向上を図るため、計画的かつ効率的に道路舗装を進めています。	

めざす効果(事業目的)
路面補修により、通行の安全確保に努めます。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)		平成23年度 (計画・作成時予算額)		現在の実施手法(複数選択可)																				
					平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)																		
主な事業の実績・計画	[事業内容(事業量)・事業費] (H21年度繰越) ・舗装補修工事 11件 ・緊急補修工事 70件 (H22年度) ・舗装補修工事 4件 ・緊急補修工事 29件 (H23年度への繰越明許費 19,856千円) ・舗装新設 3件 ・舗装補修 9件		[事業内容(事業量)・事業費] ・舗装新設 3件 ・舗装補修工事 3件 ・緊急補修工事 随時		<table border="1"> <tr> <th colspan="3">現在の実施手法(複数選択可)</th> </tr> <tr> <td>市が直接実施</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>業務委託(全部・一部)により実施</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>指定管理</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>補助金・交付金</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他 ()</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			現在の実施手法(複数選択可)			市が直接実施			業務委託(全部・一部)により実施			指定管理			補助金・交付金			その他 ()		
現在の実施手法(複数選択可)																									
市が直接実施																									
業務委託(全部・一部)により実施																									
指定管理																									
補助金・交付金																									
その他 ()																									
直接事業費	(37,999千円)	15,348千円	40,000千円	60,000千円	60,000千円	60,000千円																			
財源内訳(千円)																									
国庫支出金	(37,999)																								
県支出金		4,500	4,400	4,400	4,400	4,400																			
地方債			14,800	23,100	23,100	23,100																			
その他()																									
一般財源	(0)	10,848	20,800	32,500	32,500	32,500																			
人工数																									
職員	(0.33人)	0.33人	0.66人	0.66人	0.66人	0.66人																			
臨時職員等																									
概算人件費	(2,409千円)	2,409千円	4,818千円	4,818千円	4,818千円	4,818千円																			
+ 総事業費	(40,408千円)	17,757千円	44,818千円	64,818千円	64,818千円	64,818千円																			

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。
平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
企業会計の財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金を記載しています。
平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	件	-	-	-	-	-
	実績			139	115		
成果指標	目標	%	-	-	-	-	49.0
	実績		47.5	46.1	45.5		
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針	引き続き、安全な交通環境を確保するため既存道路の舗装工事を進めます。						

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
厳しい財源状況の中で、緊急性を総合的に考慮した適切な整備が必要。	市民生活に最も密着した生活道路であるため、高齢者や障害者等、誰もが安心して通行できる道路が求められている。

7. 担当室による点検【事務事業をより良く(最適化)するために】

(1)協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)(へ)	協働等の主な相手先について
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)	協働等の今後の取組について 市が直接実施
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2)(現在の事業費の範囲で)効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である	
(3)事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である	
(4)新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である	
(5)その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(現行)	
(1)短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2)「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など	
既存道路の現状把握を行い、計画的な舗装工事や緊急的な舗装補修を実施していく。	

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	当事業による道路舗装補修面積	m ²	-	-		
	実績			-	-	1,330	
成果指標	目標	市内の道路整備が進み、移動しやすくなったと感じている市民の割合	%	-	-	-	49.0
	実績			47.5	46.1	45.5	
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針	引き続き、安全な交通環境を確保するため既存道路の整備を進めます。						

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
厳しい財源状況の中で交付金を有効に活用し、幹線道路についての緊急性を考慮した適切な整備が必要。	市民生活に最も密着した生活道路であるため、高齢者や障害者等、誰もが安心して通行できる道路が求められている。

7. 担当室による点検【事務事業をより良く(最適化)するために】

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)(へ)	協働等の主な相手先について
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)	協働等の今後の取組について 市が直接実施
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である	
(5) その他、有効性及び効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(現行)	
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 国の事業の動向を注視し、国費を有効に活用できるよう幹線道路の整備計画を検討する。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	4028	(H.22)No.	4028
-----------	------	-----------	------

事務事業名	第8号都市下水路整備事業		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
都市整備部	維持管理室	稲住和久	63-7681
新・継	事業期間	根拠法令等	
	平成 22 年度 ~ 平成 22 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	2	安全で安心な地域づくり
	施策	1	防災
	小施策	2	治山・治水対策
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	400601
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	土木費	第8号都市下水路整備事業
項	河川費	(小事業名)
目	河川維持費	第8号都市下水路整備事業

3. 事務事業の概要

事業概要	
老朽箇所を改良し、名張川まで適切に流下できるよう実施します。	

めざす効果(事業目的)	
円滑な流れにより、安全に名張川に放流させる。	

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)				
			市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理		
主な事業の実績・計画	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	補助金・交付金	その他 ()			
	・第8号都市下水路改修工事 (H23年度への繰越明許費 8,400千円) L = 15.5 m				平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)
	直接事業費	2,600千円					
	財源内訳(千円)						
	国庫支出金						
県支出金							
地方債	2,600						
その他()							
一般財源	(0)	0	0	0	0	0	
人工数							
職員	0.12人						
臨時職員等							
概算人件費	(0千円) 876千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
+ 総事業費	(0千円) 3,476千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	

概算人件費は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計の財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24	
活動指標	目標	都市下水道改修工事延長	m	-	-	15.5	-	-
	実績			-	-	15.5	-	-
	目標							
	実績							
	目標							
	実績							
考察及び今後の対応方針								

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)		備考欄(工夫・改善等を記載)
協働等を実践していますか []	協働等の主な相手先について []	
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) []	協働等の今後の取組について []	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか []		
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか []		
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか []		
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか []		

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
[]	
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など []	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など []	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	4030	(H.22)No.	4030
-----------	------	-----------	------

事務事業名 都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業			
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
都市整備部	維持管理室	稲住和久	63-7681
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 22 年度 ~ 平成 25 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	1	魅力的な都市環境づくり
	施策	4	水と緑のまちづくり
	小施策	1	緑豊かなまちづくり
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	412201
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	土木費	都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業
項	都市計画費	(小事業名)
目	公園管理費	都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業

3. 事務事業の概要

<p style="text-align: center;">事業概要</p> <p>都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業を活用して平成22年度から4ヵ年をかけて計画的に都市公園施設(71箇所)の老朽化した遊具の更新を実施します。</p>	<p style="text-align: center;">めざす効果(事業目的)</p> <p>市民が自由に憩いの場として利用できるよう、安全な都市公園の形成に努めます。</p>
--	---

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
	豊後町公園・桔梗が丘1号公園・桔梗が丘2号公園・桔梗が丘4号公園・桔梗が丘9号公園・前山公園・東山公園の遊具の更新(滑り台、シーソー、ジャングルジム、複合遊具等)	桔梗が丘8号公園・桔梗が丘11号公園・桔梗が丘12号公園・桔梗が丘13号公園・桔梗が丘15号公園・桔梗が丘16号公園・桔梗が丘17号公園・桔梗が丘18号公園・桔梗が丘南1号公園・桔梗が丘南2号公園・桔梗が丘西1号公園・富貴ヶ丘1号公園・富貴ヶ丘3号公園・美旗1号公園・美旗2号公園・美旗3号公園・美旗4号公園・美旗5号公園・南西原2号公園・南西原4号公園・緑ヶ丘1号公園・緑ヶ丘3号公園・さつき台1号公園・さつき台2号公園・さつき台3号公園・さつき台4号公園の遊具の更新(滑り台、シーソー、ジャングルジム、複合遊具等)	補助金・交付金	その他 ()	
			平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)
			池の台1号公園外15公園	鴻之台1号公園外21公園	
直接事業費	32,246千円	30,000千円	75,000千円	74,500千円	
財源内訳(千円)					
国庫支出金	16,000	15,000	37,500	37,250	
県支出金					
地方債	16,000	15,000	37,500	37,250	
その他()					
一般財源	(0) 246	0	0	0	0
人工数					
職員	0.23人	0.13人	0.13人	0.13人	
臨時職員等					
概算人件費	(0千円) 1,679千円	949千円	949千円	949千円	0千円
+ 総事業費	(0千円) 33,925千円	30,949千円	75,949千円	75,449千円	0千円

概算人件費は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計の財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	4062	(H.22)No.	4062
-----------	------	-----------	------

事務事業名 現年補助災害復旧事業			
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
都市整備部	維持管理室	稲住和久	63-7681
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 21 年度 ~ 平成 22 年度	公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	2	安全で安心な地域づくり
	施策	1	防災
	小施策	1	災害に強いまちづくり
	重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分	事業コード	561501
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	災害復旧費	現年補助災害復旧事業
項	土木施設災害復旧費	(小事業名)
目	土木施設災害復旧費	現年補助災害復旧事業

3. 事務事業の概要

<p style="text-align: center;">事業概要</p> <p>災害発生箇所の復旧を行います。</p>	<p style="text-align: center;">めざす効果(事業目的)</p> <p>二次災害の防止、今後の防災に努めます。</p>
--	---

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	(平成21年度繰越)		補助金・交付金		
	<ul style="list-style-type: none"> 道路施設災害 18件 (内補助事業 8件) 河川施設災害 8件 (内補助事業 5件) 		その他 ()		
直接事業費	(43,888千円)		平成24年度(計画)	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)
財源内訳(千円)					
国庫支出金	(26,342)				
県支出金					
地方債	(13,100)				
その他()					
一般財源	(4,446)	0	0	0	0
人工数					
職員	(0.40人)				
臨時職員等					
概算人件費	(2,920千円)	0千円	0千円	0千円	0千円
+ 総事業費	(46,808千円)	0千円	0千円	0千円	0千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計の財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	件	-	-	-	-	-
	実績		-	-	26	-	-
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見

7. 担当室による点検【事務事業をより良く(最適化)するために】

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)		備考欄(工夫・改善等を記載)
協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)(へ)	協働等の主な相手先について	
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)	協働等の今後の取組について 市が直接実施	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である		
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である		
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である		
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である		

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	4063	(H.22)No.	4063
-----------	------	-----------	------

事務事業名 土木施設災害応急復旧事業			
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
都市整備部	維持管理室	稲住和久	63-7681
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 年度 ~ 平成 年度	公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	2	安全で安心な地域づくり
	施策	1	防災
	小施策	1	災害に強いまちづくり
	重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分	事業コード	560501
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	災害復旧費	土木施設災害応急復旧事業
項	土木施設災害復旧費	(小事業名)
目	土木施設災害復旧費	土木施設災害応急復旧事業

3. 事務事業の概要

事業概要
災害発生箇所の応急復旧を行います。

めざす効果(事業目的)
道路通行を可能にし、二次災害の防止に努めます。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	主な事業の実績・計画	[事業内容(事業量)・事業費] ・台風等の災害による応急復旧作業等 3件	[事業内容(事業量)・事業費] ・台風等の災害による応急復旧作業	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施
			補助金・交付金	その他 ()	
			平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)
			・台風等の災害による応急復旧作業	・台風等の災害による応急復旧作業	・台風等の災害による応急復旧作業
直接事業費	260千円	500千円	500千円	500千円	500千円
財源内訳 (千円)	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他()				
一般財源	(0) 260	500	500	500	500
人工数	職員	0.06人	0.05人	0.05人	0.05人
	臨時職員等				
概算人件費	(0千円) 438千円	365千円	365千円	365千円	365千円
+ 総事業費	(0千円) 698千円	865千円	865千円	865千円	865千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。
平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
企業会計の財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金を記載しています。
平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	件	-	-	-	-	-
	実績		-	58	3		
成果指標	目標	%	-	-	-	-	62.0
	実績		58.9	64.4	63.8		
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見

7. 担当室による点検【事務事業をより良く(最適化)するために】

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)		備考欄(工夫・改善等を記載)
協働等は実践していますか 実践している	協働等の主な相手先について その他団体	
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 委託[業務量の50%以上相当]	協働等の今後の取組について 継続実施	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である		
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である		
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である		
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である		

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) 継続(現行)	特記事項
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 災害の発生予測は困難であるため、発生に備えての準備を整えておく必要がある。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	4064	(H.22)No.	
-----------	------	-----------	--

事務事業名		丸之内都市下水路整備事業	
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
都市整備部	維持管理室	稲住和久	63-7681
新・継	事業期間	根拠法令等	
新規	平成 23 年度 ~ 平成 23 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3 人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	2 安全で安心な地域づくり
	施策	1 防災
	小施策	2 治山・治水対策
	重点施策コード	

2. 予算区分

会計区分	事業コード	400701
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	土木費	丸之内都市下水路整備事業
項	河川費	(小事業名)
目	河川維持費	丸之内都市下水路整備事業

3. 事務事業の概要

<p style="text-align: center;">事業概要</p> <p>老朽箇所を改良し、名張川まで適切に流下できるよう実施します。</p>	<p style="text-align: center;">めざす効果(事業目的)</p> <p>円滑な流れにより、安全に名張川に放流させる。</p>
---	--

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)		平成23年度 (計画・作成時予算額)		現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]		[事業内容(事業量)・事業費]		市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画			丸之内都市下水路改修工事 L = 50 m		補助金・交付金		
					その他 ()		
					平成24年度(計画)	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)
直接事業費				5,000千円			
財源内訳 (千円)	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債			5,000			
	その他()						
一般財源	(0)	0	0	0	0	0	
人工数	職員			0.11人			
	臨時職員等						
概算人件費		(0千円)	0千円	803千円	0千円	0千円	0千円
+ 総事業費		(0千円)	0千円	5,803千円	0千円	0千円	0千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計の財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	都市下水道改修工事延長	m	-	-	50	-
	実績			-	-	-	-
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見

7. 担当室による点検【事務事業をより良く(最適化)するために】

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)		備考欄(工夫・改善等を記載)
協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)(へ)	協働等の主な相手先について	
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)	協働等の今後の取組について 市が直接実施	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である		
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である		
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である		
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である		

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) 平成23年度事業完了予定	特記事項
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	5023	(H.22)No.	5023
-----------	------	-----------	------

事務事業名	駐車場管理費		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
都市整備部	維持管理室	山岡 寛明	63-2151
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	4	総合的な交通対策の推進
	施策	1	交通対策
	小施策	2	交通対策の充実
	重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分	事業コード	381501
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	土木費	駐車場管理費
項	土木管理費	(小事業名)
目	駐車場管理費	駐車場管理費

3. 事務事業の概要

事業概要
<ul style="list-style-type: none"> 市街地における自動車の駐車需要に応じ、道路交通の円滑化を図り、市民の利便に資するために設置。 収容台数 <ul style="list-style-type: none"> 名張市営栄町駐車場: 自動車39台 単車52台 自転車80台 名張市営名張駅西駐車場: 自動車10台 名張市営桔梗が丘駅南駐車場: 自動車12台

めざす効果(事業目的)
<ul style="list-style-type: none"> 栄町駐車場 平成21年5月から料金を改定し、周知されてきたことから今後ますます鉄道や周辺施設利用者の利便に資する。 名張駅西駐車場、桔梗が丘駅南駐車場 駅周辺の活性化及び路上駐車を無くすことにより道路交通の円滑化を図り、利用者の利便に資する。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
			補助金・交付金	その他 ()	
			平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)
	<ul style="list-style-type: none"> 委託料 6,848千円 需用費 758千円 その他 50千円 	<ul style="list-style-type: none"> 委託料 7,200千円 需用費 740千円 役務費 68千円 	<ul style="list-style-type: none"> 委託料 需用費 役務費 	<ul style="list-style-type: none"> 委託料 需用費 役務費 	<ul style="list-style-type: none"> 委託料 需用費 役務費
直接事業費	7,656千円	8,008千円	7,900千円	7,900千円	7,900千円
財源内訳 (千円)					
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他(使用料)	7,656	8,008	7,900	7,900	7,900
一般財源	(0)	0	0	0	0
人工数					
職員	0.19人	0.07人	0.07人	0.07人	0.07人
臨時職員等					
概算人件費	(0千円) 1,387千円	511千円	511千円	511千円	511千円
+ 総事業費	(0千円) 9,043千円	8,519千円	8,411千円	8,411千円	8,411千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計の財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標 実績	栄町駐車場の年間利用台数 【自動車、単車、自転車】	台		20,649	22,785	
成果指標	目標 実績	公共交通など市内の交通環境に満足している市民の割合	%	- 39.4	- 40.3	- 40.8	41.0
	目標 実績						
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
・栄町駐車場は、利用についての周知、啓発を図るとともに適正な経営を行っていきます。 ・名張駅西・桔梗が丘駅南駐車場は路上駐車を無くす為、引き続き経営を行っていきます。	

7. 担当室による点検【事務事業をより良く(最適化)するために】

(1)協働の取組(「新しい公」の推進)		備考欄(工夫・改善等を記載)
協働等は実践していますか 一部実践している	協働等の主な相手先について 市民公益活動団体等	指定管理等の方法により、より市民の利便性に貢献できると考える。 利用促進のため、啓発を行っていく。
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 委託[事業量の50%未満相当]	協働等の今後の取組について 継続実施	
(2)(現在の事業費の範囲で)効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか できる		
(3)事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である		
(4)新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある		
(5)その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である		

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) 継続(事務改善)	特記事項
(1)短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など 事務の工夫・改善に努めるとともに、指定管理者等への管理運営等の移行を検討する。	
(2)「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 公営駐車場の重要性を考え、適切な運営管理を行っていく。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	5024	(H.22)No.	5024
-----------	------	-----------	------

事務事業名		駐輪場管理費	
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
都市整備部	維持管理室	山岡 寛明	63-2151
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	4	総合的な交通対策の推進
	施策	1	交通対策
	小施策	2	交通対策の充実
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	383101
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	土木費	駐輪場管理費
項	土木管理費	(小事業名)
目	交通対策費	駐輪場管理費

3. 事務事業の概要

<p style="text-align: center;">事業概要</p> <p>・自転車の駐車需要に応じ、道路交通の円滑化を図り、市民の利便に資するために設置。 ・名張市営美旗駅自転車駐輪場: 収容台数 西側(自転車287台 原動機付自転車55台) 東側(自転車142台 原動機付自転車40台)</p>	<p style="text-align: center;">めざす効果(事業目的)</p> <p>駅周辺における自転車等の放置を防止することにより、通行機能を確保し、市民生活の安全を図るとともに、良好な都市環境を保持する。</p>
---	--

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	委託料 2,242千円 土地借料 1,014千円 需用費 551千円 その他 47千円	<ul style="list-style-type: none"> 土地借料 1,014千円 需用費(修繕料) 150千円 *平成23年度~25年度については、指定管理者制度導入 指定管理者: 美旗まちづくり協議会	補助金・交付金	その他 ()	
			平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)
直接事業費	3,854千円	1,164千円	1,164千円	1,164千円	1,164千円
財源内訳 (千円)	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
その他(使用料・諸収入)	3,737	1,100	1,100	1,100	1,100
一般財源	(0) 117	64	64	64	64
人工数	職員	0.19人	0.02人	0.02人	0.02人
	臨時職員等				
概算人件費	(0千円) 1,387千円	146千円	146千円	146千円	146千円
+ 総事業費	(0千円) 5,241千円	1,310千円	1,310千円	1,310千円	1,310千円

概算人件費は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計の財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	台	-	-	-	-	198
	実績		209	129	71		
活動指標	目標	台					
	実績			55,871	45,501		
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
・特に駅周辺の放置自転車を無くす為、引き続き駐輪場の経営を継続する。	

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)		備考欄(工夫・改善等を記載)
協働等は実践していますか 実践している	協働等の主な相手先について 地域づくり組織等	指定管理者制度の導入による成果向上を見込んでいる。
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) その他	協働等の今後の取組について 継続実施	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である		
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である		
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である		
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である		

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(現行)	
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 今年度から指定管理を導入しており今後の実績を検証していく。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	5025	(H.22)No.	5025
-----------	------	-----------	------

事務事業名		道路維持費			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
都市整備部		維持管理室		稲住和久	63-7681
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度～	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	4	総合的な交通対策の推進
	施策	2	道路整備
	小施策	3	快適な道路環境の形成
	重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分		事業コード	391501
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	土木費	道路維持費	
項	道路橋梁費	(小事業名)	
目	道路維持費	道路維持費	

3. 事務事業の概要

事業概要	
生活道路の安全性向上を図るため、適切な維持管理を進めます。	

めざす効果(事業目的)	
生活道路の整備により、快適な道路環境の形成に努めます。	

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)		平成23年度 (計画・作成時予算額)		現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]		[事業内容(事業量)・事業費]				
主な事業の実績・計画	<平成21年度繰越> ・市道緊急補修工事 25件 ・道路施設修繕 111件 <平成22年度> ・市道除草作業委託 83路線 ・街路樹剪定作業委託 22件 ・地域等の作業委託 28件 (除草・剪定) ・市道緊急補修工事 8件 ・道路施設修繕 32件 ・道路側溝清掃外 ・雪水対策 ・施設維持管理業務等		・市道除草作業委託 17,500千円 ・街路樹剪定作業委託 8,900千円 ・地域等の作業委託 5,600千円 (除草・剪定) ・市道緊急補修工事 ・道路施設修繕 ・道路側溝清掃外 ・雪水対策 ・施設維持管理業務等		市が直接実施 業務委託(全部・一部)により実施 指定管理 補助金・交付金 その他 ()		
	直接事業費	(20,695千円) 69,372千円	85,579千円	95,000千円	95,000千円	95,000千円	95,000千円
財源内訳 (千円)	国庫支出金	(20,695)					
	県支出金						
	地方債						
	その他(諸収入)	371	382	382	382	382	
一般財源	(0) 69,001	85,197	94,618	94,618	94,618		
人工数	(0.25人) 0.37人	0.71人	0.71人	0.71人	0.71人		
概算人件費	(1,825千円) 2,701千円	5,183千円	5,183千円	5,183千円	5,183千円		
+ 総事業費	(22,520千円) 72,073千円	90,762千円	100,183千円	100,183千円	100,183千円		

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。
 平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
 企業会計の財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金を記載しています。
 平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	地域等への作業委託件数	件	-	-	-	-
	実績			-	27	28	
成果指標	目標	市内の道路整備が進み、移動しやすくなったと感じている市民の割合	%		47.9	48.3	48.7
	実績			47.5	46.1	45.5	49.0
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針		引き続き、生活道路等の維持管理を進めます。					

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
厳しい財政状況の中で、緊急性や地域性を総合的に考慮した適切な維持管理が必要。	高齢者が増える中、安心して通行できるよう、道路の補修、草刈等の要望が増加してきている。

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)		備考欄(工夫・改善等を記載)
協働等は実践していますか <input type="text" value="実践している"/>	協働等の主な相手先について <input type="text" value="地域づくり組織等"/>	
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) <input type="text" value="補助・助成"/>	協働等の今後の取組について <input type="text" value="継続実施"/>	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか <input type="text" value="現在の手法が妥当である"/>		
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか <input type="text" value="現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である"/>		
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか <input type="text" value="新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である"/>		
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか <input type="text" value="困難である"/>		

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) <input type="text" value="継続(現行)"/>	特記事項
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など <input type="text"/>	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 老朽化施設が増え、今後の維持管理の財源確保について検討が必要。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	5026	(H.22)No.	5026
-----------	------	-----------	------

事務事業名		橋梁維持費			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
都市整備部		維持管理室		稲住和久	63-7681
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度 ~	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	4	総合的な交通対策の推進
	施策	2	道路整備
	小施策	3	快適な道路環境の形成
	重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分		事業コード	394501
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	土木費	橋梁維持費	
項	道路橋梁費	(小事業名)	
目	橋梁維持費	橋梁維持費	

3. 事務事業の概要

事業概要	
生活道路の安全性向上を図るため、橋梁の適切な維持管理を進めます。	

めざす効果(事業目的)
生活道路の整備により、快適な道路環境の形成に努めます。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	・橋梁維持補修工事 1件 ・原材料	・橋梁維持補修工事 ・原材料	補助金・交付金	その他 ()	
			平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)
直接事業費	815千円	900千円	900千円	900千円	900千円
財源内訳 (千円)	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他()				
一般財源	(0) 815	900	900	900	900
人工数	職員	0.06人	0.06人	0.06人	0.06人
	臨時職員等				
概算人件費	(0千円) 438千円	438千円	438千円	438千円	438千円
+ 総事業費	(0千円) 1,253千円	1,338千円	1,338千円	1,338千円	1,338千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計の財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標 実績	維持補修工事件数	件	-	2	1	
成果指標	目標 実績	市内の道路整備が進み、移動しやすくなったと感じている市民の割合	%	-	-	-	49.0
	目標 実績			47.5	46.1	45.5	
考察及び今後の対応方針	引き続き、安全な交通環境を確保するため橋梁の維持管理を進めます。						

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
厳しい財政状況の中で、緊急性や地域性を総合的に考慮した適切な維持管理が必要。	市民生活に最も密着した生活道路であるため、高齢者や障害者等、誰もが安心して通行できる橋梁が求められている。

7. 担当室による点検【事務事業をより良く(最適化)するために】

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)(へ)	協働等の主な相手先について
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)	協働等の今後の取組について 市が直接実施
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である	
(5) その他、有効性及び効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(現行)	
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 今後は老朽化対策が必要となってくるため、長寿命化計画との整合を図りながら進めていく。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	5028	(H.22)No.	5028
-----------	------	-----------	------

事務事業名		水路河川維持費			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
都市整備部		維持管理室		稲住和久	63-7681
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度	~	平成	年度

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	2	安全で安心な地域づくり
	施策	1	防災
	小施策	2	治山・治水対策
	重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分		事業コード	400501
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	土木費	河川維持費	
項	河川費	(小事業名)	
目	河川維持費	水路河川維持費	

3. 事務事業の概要

事業概要	
計画的に既存水路等の維持管理を行います。	

めざす効果(事業目的)
雨水排水が円滑に流下出来るように努めます。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	主な事業の実績・計画	[事業内容(事業量)・事業費] ・築瀬水路浚渫作業委託 ・小規模補修工事	[事業内容(事業量)・事業費] ・築瀬水路浚渫作業委託 ・小規模補修工事	市が直接実施 業務委託(全部・一部)により実施 指定管理 補助金・交付金 その他 ()	
			平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)
直接事業費	9,348千円	11,240千円	12,000千円	12,000千円	12,000千円
財源内訳 (千円)	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他()				
一般財源	(0) 9,348	11,240	12,000	12,000	12,000
人工数	職員	0.20人	0.23人	0.23人	0.23人
	臨時職員等				
概算人件費	(0千円) 1,460千円	1,679千円	1,679千円	1,679千円	1,679千円
+ 総事業費	(0千円) 10,808千円	12,919千円	13,679千円	13,679千円	13,679千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。
 平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
 企業会計の財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金を記載しています。
 平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	箇所					
	実績						
	目標						
	実績			23	10		
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
水路等の老朽化が進んできている。	早期の改修が求められている。

7. 担当室による点検【事務事業をより良く(最適化)するために】

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)(へ)	協働等の主な相手先について
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)	協働等の今後の取組について 市が直接実施
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(現行)	
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 施設の老朽化が進んできているため、効率的な計画を検討する。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	5029	(H.22)No.	5029
-----------	------	-----------	------

事務事業名		調整池維持費	
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
都市整備部	維持管理室	山岡 寛明	63-2151
新・継	事業期間	根拠法令等	
	平成 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	2	安全で安心な地域づくり
	施策	1	防災
	小施策	2	治山・治水対策
	重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分	事業コード	400502
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	土木費	河川維持費
項	河川費	(小事業名)
目	河川維持費	調整池維持費

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>・住宅団地の開発により設置された調整池(36箇所)の機能確保のため、適切な維持管理を行います。</p>	

めざす効果(事業目的)
<p>・調整池の維持管理をすることで、そこに住む人、下流に住む人が安心して暮らしていけるよう、下流河川への安全な放流をめざします。</p>

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	開発調整池維持管理等委託 開発調整池維持管理工事費	開発調整池維持管理等委託 開発調整池維持管理工事費	補助金・交付金	その他 ()	
			平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)
			・開発調整池維持管理委託・開発調整池維持管理工事費	・開発調整池維持管理委託・開発調整池維持管理工事費	・開発調整池維持管理委託・開発調整池維持管理工事費
直接事業費	2,971千円	4,860千円	4,600千円	4,600千円	4,600千円
財源内訳(千円)					
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他(繰入金)	2,971	4,860	4,600	4,600	4,600
一般財源	(0) 0	0	0	0	0
人工数					
職員	0.11人	0.09人	0.09人	0.09人	0.09人
臨時職員等					
概算人件費	(0千円) 803千円	657千円	657千円	657千円	657千円
+ 総事業費	(0千円) 3,774千円	5,517千円	5,257千円	5,257千円	5,257千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計の財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	件	-	36	36	36	36.0
	実績		-	36	36		
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
・老朽化により日常監視の強化に努める。	・草刈、浚渫が求められている。。

7. 担当室による点検【事務事業をより良く(最適化)するために】

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践していないが、今後可能性がある	協働等の主な相手先について 現時点で相手先は確定していない
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 委託[業務量の50%以上相当]	協働等の今後の取組について 今後、取組み予定
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある	良好な環境を保つためにも、地域づくり組織等の協力等があれば望ましい。
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である	
(5) その他、有効性及び効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(現行)	
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 現在、基金で対応しているが、今後は財源が必要となる。また、大きな改修や浚渫が必要となることから、計画的な実施を検討する。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	5034	(H.22)No.	5034
-----------	------	-----------	------

事務事業名		公園管理費			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
都市整備部		維持管理室		山岡 寛明	63-2151
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度 ~	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	1	魅力的な都市環境づくり
	施策	4	水と緑のまちづくり
	小施策	1	緑豊かなまちづくり
	重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分		事業コード	412001
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	土木費	公園管理費	
項	都市計画費	(小事業名)	
目	公園管理費	公園管理費	

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>・市民が憩える都市公園165箇所及び住宅団地内の緑地の維持管理を行います。</p>	

めざす効果(事業目的)
<p>・住民が、美しい自然に包まれ、憩いと潤いのある、健康に暮らしていける空間づくりをめざします。</p>

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)		平成23年度 (計画・作成時予算額)		現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]		[事業内容(事業量)・事業費]		市が直接実施 業務委託(全部・一部)により実施 指定管理 補助金・交付金 その他 ()		
主な事業の実績・計画	平成21年度繰越 ・公園維持補修等工事費 5,000千円 平成22年度 ・公園維持管理作業等委託料 48,286千円 ・公園維持補修等工事費 3,053千円 ・需用費、役務費、その他 5,682千円		・公園維持管理作業等委託料 49,000千円 ・公園維持補修等工事費 8,000千円 ・需用費、役務費、その他 6,383千円		平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)
					・公園維持管理作業等委託料 ・公園維持補修等工事費等	・公園維持管理作業等委託料 ・公園維持補修等工事費等	・公園維持管理作業等委託料 ・公園維持補修等工事費等
直接事業費	(4,999千円)	57,020千円	63,383千円	70,000千円	75,000千円	80,000千円	
財源内訳 (千円)	国庫支出金	(4,999)					
	県支出金						
	地方債						
	その他()						
一般財源	(0)	57,020	63,383	70,000	75,000	80,000	
人工数	職員	(0.06人)	0.52人	0.60人	0.60人	0.60人	0.60人
	臨時職員等	(0.02人)	0.23人	0.25人	0.25人	0.25人	0.25人
概算人件費	(472千円)	4,187千円	4,805千円	4,805千円	4,805千円	4,805千円	4,805千円
+ 総事業費	(5,471千円)	61,207千円	68,188千円	74,805千円	79,805千円	84,805千円	

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計の財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24	
活動指標	目標	地域づくり組織が維持管理をしている割合	%		80.4	80.9	81.4	82.0
	実績			79.9	87.8	87.9		
成果指標	目標	水辺や緑とのふれあいに満足している市民の割合	%		69.4	72.8	73.4	74.0
	実績			70.8	72.0	73.9		
	目標							
	実績							
考察及び今後の対応方針		地域等との連携により引き続き適切な維持管理に努める。						

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
・市民が自由に憩いの場、交流の場として利用できるように、地域の特性をいかした公園づくりが必要。	・草刈り、樹木の剪定等についての要望や遊具等の補修が求められている。

7. 担当室による点検【事務事業をより良く(最適化)するために】

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)		備考欄(工夫・改善等を記載)
協働等は実践していますか 実践している	協働等の主な相手先について 地域づくり組織等	
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 委託[業務量の50%以上相当]	協働等の今後の取組について 拡大推進	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である		
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか できる		利用者の増加を図るため、補助事業を活用し遊具等の更新を実施する。
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある		国、県の動向を見据えながら、新規の補助事業等を模索する。
(5) その他、有効性及び効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 検討の余地がある		地域づくり組織等との連携を図る。

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(現行)	
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 地域等への委託の継続、推進を図る。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	6087	(H.22)No.	6087
-----------	------	-----------	------

事務事業名		屋外広告物簡易除却事務費			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
都市整備部		維持管理室		山岡 寛明	63-2151
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度 ~	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	1	魅力的な都市環境づくり
	施策	2	都市環境
	小施策	2	景観形成
	重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分		事業コード	390502
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	土木費	道路橋梁総務費	
項	道路橋梁費	(小事業名)	
目	道路橋梁総務費	屋外広告物簡易除却事務費	

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>・三重県の事務処理の特例に関する条例に定める事務で、三重県屋外広告物条例に規定する物のうち、はり紙や管理されずに放置されていることが明らかな広告旗、立看板等の除却を行う。</p>	

めざす効果(事業目的)
<p>違法広告物を除去することにより、良好な景観の形成、風致の維持、公衆に対する危害の防止を目的とする。</p>

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)			
			平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	
主な事業の実績・計画	[事業内容(事業量)・事業費] ・簡易除却事務	[事業内容(事業量)・事業費] ・簡易除却事務	市が直接実施 業務委託(全部・一部)により実施 指定管理 補助金・交付金 その他 ()			
直接事業費	18千円	45千円	45千円	45千円	45千円	
財源内訳 (千円)	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他()					
一般財源	(0) 18	45	45	45	45	
人工数	職員	0.07人	0.03人	0.03人	0.03人	0.03人
	臨時職員等					
概算人件費	(0千円) 511千円	219千円	219千円	219千円	219千円	
+ 総事業費	(0千円) 529千円	264千円	264千円	264千円	264千円	

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計の財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	自分が住む地域におけるまち並みなど景観 や環境が良好であると感じる市民の割合	%	-	-	-	-
	実績			65.5	72.0	71.4	69.0
	目標						
	実績						
考察及び今後の 対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見

7. 担当室による点検【事務事業をより良く(最適化)するために】

(1)協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践していないが、今後可能性がある	協働等の主な相手先について 現時点で相手先は確定していない
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) その他	協働等の今後の取組について 今後、取組み予定
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2)(現在の事業費の範囲で)効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある	良好な景観を保つためにも、地域づくり組織等の協力等があれば望ましい。
(3)事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である	
(4)新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である	
(5)その他、有効性及び効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 検討の余地がある	地域づくり組織等の協力等があれば望ましい。

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) 継続(現行)	特記事項
(1)短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2)「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善などはり紙などはすぐに除却できるものもあり、地域づくり組織等の協力を得る方法を検討する。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	7003	(H.22)No.	7003
-----------	------	-----------	------

事務事業名	東山墓園事業費		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
都市整備部	維持管理室	山岡 寛明	63-2151
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	3	快適な生活環境づくり
	施策	4	斎場・墓地
	小施策	2	墓地
	重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分	事業コード	620501
東山墓園造成事業特別会計	(中事業名)	予算書事業名
款 事業費	東山墓園事業費	
項 事業費	(小事業名)	
目 東山墓園事業費	東山墓園事業費	

3. 事務事業の概要

事業概要
<ul style="list-style-type: none"> 全3,211区画の墓所、休憩施設、附属施設の維持管理 第4期工事で完成した482区画の年度計画による貸付事務

めざす効果(事業目的)
<ul style="list-style-type: none"> 先祖を追悼できる適切な環境を整備し、人生終焉の場所にふさわしい、尊厳さを備えた運営をめざします。 市街地に隣接する緑豊かな環境にある東山墓園において、静寂さや美観に配慮した施設管理を進め、隣接する保全林とともに市民が自然に親しみ、憩うことのできる施設をめざします。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	<ul style="list-style-type: none"> 116区画の貸付 施設維持管理等委託料 施設営繕工事費 需用費 役務費等 	<ul style="list-style-type: none"> 墓所の貸付 施設維持管理等委託料 施設営繕工事費 需用費 役務費等 	補助金・交付金	その他 ()	
			平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)
直接事業費	3,942千円	6,645千円	6,700千円	6,700千円	6,700千円
財源内訳 (千円)					
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他(基金積立金利子)	837	25	25	25	25
一般財源	(0) 3,105	6,620	6,675	6,675	6,675
人工数					
職員	0.63人	0.63人	0.63人	0.63人	0.63人
臨時職員等	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人
概算人件費	(0千円) 4,769千円	4,769千円	4,769千円	4,769千円	4,769千円
+ 総事業費	(0千円) 8,711千円	11,414千円	11,469千円	11,469千円	11,469千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計の財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	%		88.7	92.5	96.3	100.0
	実績		84.9	88.1	91.6		
成果指標	目標	%		48.1	48.7	49.3	50.0
	実績		47.1	50.4	51.3		
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針		・適切な貸付計画をたてていく。 ・引き続き、事業を推進し、より良い施設・成果が得られるよう努める。					

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
適切な維持管理及び需要に合わせた貸付が必要。	・貸付募集や今後の造成計画についての問い合わせが多い。

7. 担当室による点検【事務事業をより良く(最適化)するために】

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践していないが、今後可能性がある	協働等の主な相手先について 現時点で相手先は確定していない
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 委託[業務量の50%以上相当]	協働等の今後の取組について 今後、取組み予定
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある	委託方法の検討
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(事務改善)	
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など 貸付計画の策定を行う。	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など ・管理委託手法の検討を行う。	